

はとみね 鳩の峯

No. 59
2021
3.31

令和3年3月31日



主な内容

おね火……………	2P
通いの場……………	2P
五木村との交流……………	2P
信号機撤去……………	2P
連載……………	3P
高浜中央線道路改良工事……………	3P
コロナ禍に還暦を迎えて……………	3P
雪景色……………	4P
テレビドラマロケ……………	4P
うちの家族……………	4P
編集後記……………	4P

十三仏にも春来たり

毎朝、自宅より白鶴浜の海を見ながら十三仏までの散歩を楽しみ、十三仏より高浜の景色を満喫^{まんきつ}しています。また白鶴浜の松林から十三仏を見るのも好きです。さて昨年より白鶴浜にもサンセットカフェが出来、日々人の流れが増している高浜にも、海を見ながらコーヒーを頂くこんな贅沢はない場所となりつつあります。全国的にコロナ禍で暗い話ばかりの中で小さな光が輝き出している場所でもあります。これが皆様に届く頃には十三仏の桜も満開に成り春本番になっていることでしょう。

おね火



燃え上がるおね火

1月10日、天草中学校グラウンドで「おね火」を実施しました。年男の火入れで始まり、勢いよく一気に燃え上がりました。皆様にとって今年も無病息災・家内安全でありますように。



年男(丑年)の火入れ

通いの場 パワーアップ教室



通いの場



健康運動士
高村美和 先生

1月21日、28日に高浜地区コミュニティセンターで『通いの場』パワーアップ教室が開催されました。コナミススポーツクラブの高村美和先生によるボールを使った運動遊び・声に出して脳トレ体操などを行いました。皆さん終始にぎやかに、楽しみながら過ごしました。

五木村との交流



場所:天草小学校



交流中

天草小と五木小が リモートで交流

1月26日、天草小と五木東小の児童が、ビデオ会議アプリ「ズーム」を活用し、リモート交流会を行いました。両小学校はこれまで夏休みに交互に訪問し、交流を行ってきました。今回コロナ禍により、リモートでの開催となりました。

信号機撤去

この度、中央バス停付近の四差路点滅信号機が2月5日に撤去されました。平成2年度(1990年)に設置され30年の耐用年数が過ぎ、交通量減と維持管理費の困難により撤去となりました。現在新型標識(夜間ソーラー点滅)にて対応しています。目視による安全確認をお願いします。



撤去前



撤去後

連載

その⑬

京都府立大学 文学部 歴史学科 東 昇

江戸時代の孝行息子万七(一)

親孝行へ褒美

上田宜珍が、一九世紀はじめにまとめた『天草年表事録』(『天草郡史料』一)は、天正一六年(一五八八)から文化五年(一八〇八)までの、天草に関する年表です。内容は、天草郡全体の記事が主で、支配役人の交代、幕府や富岡役所の触

杯分となります。この時期になぜ孝行の記事が多いのかというと、江戸時代の三大改革、寛政の改革を進めた幕府の老中松平定信の政策でした。定信は、全国の孝行・奇特者を調査し『孝義録』という本を出版しています。当時の政策の考え方のひとつであつた儒教の教えから、孝行を推進することで世の中を安定させようと考えていました。

高浜の孝行息子のなかで、①万七については、「孝子行状」という孝行の内容をまとめた記録が作られています。これは上田宜珍が寛政二年(一七九〇)八月に記したもので、兄茂右衛門、隣家市兵衛、権左衛門から聞き取りした話をまとめました。文章は「万七か孝心のいたす所なり」と、漢字仮名混じりの和文です。一般的な古文書は「難有仕合ニ奉存候」(ありがたきあわせにぞんじたてまつりそうろう)と、漢文のようですが、読みやすく読者を意識したものでした。

(二七九〇年代)に集中します。当時、天草は幕府領でしたが、幕府の指示により島原藩が預地という形で支配していました。褒美の理由は、長寿や三つ子の誕生もありましたが、親孝行が三件と多く、①万七、母へ、褒美五貫文、②茂作・善作兄弟、母へ、褒美六貫文、③貞蔵、母・姉へ、褒美三貫文です。褒美の

銭は五貫文が五〇〇〇文となり、二八蕎麦が一六文ならば、三一二

高浜中央線道路改良工事

2月初旬、高浜コミュニティセンターバス停前の歩道が新しくなりました。車線分離標のラバーポールも設置されています。



高浜コミセン・天草支所歩道新設



コロナ禍に 還暦を迎えて



高浜八幡宮にて

令和3年1月2日に、私たち昭和36年37年生まれ高浜小学校同級生還暦行事がありました。

いつもならば、多くの同級生が集いますが、コロナ禍の状況のため、地元のみで高浜八幡宮での神事と隣峰寺での仏事の厄除け祈願など執り行いました。時折、冷たい雨が降る中、新型コロナウイルスの終息やこれからの無事を願いました。同窓生謝恩会については時期を見ての延期としています。

高浜地区

(令和3年2月26日現在)

人口 1,034人

男 482人

女 552人

世帯数 579戸

高齢化率(65歳以上)

582人(56.3%)

温かい善意のご寄付
ありがとうございます

寄付金は高浜地区振興会の活動
に有効に活用させていただきます。

ふるさと応援寄付金

高原 憲生様 (熊本市)

脇田 美徳様 (福岡県)

一言メッセージ

「故郷のご発展を

祈念いたします。」



雪景色

年明け早々、この冬一番の寒気
の影響で、天草でも大雪に見舞わ
れました。

交通機関やマイカー通勤の大人
は大変な思いをしました。それに
引き換え、子供たちはこの大雪を
喜び、随所に雪だるまが出現して
いました。いつの時代でも同じ様
です。



上河内橋付近



合格祈願の雪だるま

テレビドラマロケ

松下由樹さんとの共演 田中光徳

眼科の患者役で、テレビドラマ
に出演しました。思っていたより
緊張は無かったのですが、ほんの
数秒流れるワンシーンを撮るに
も、多くの人達が関わっているん
だと、大変貴重な体験をした一日
でした。



準備万端



撮影風景

うちの家族

ペット

5月で、8歳になる豆柴の男の
子で「福」と言います。
白鶴浜の砂浜が大好きでお気に入り
の散歩コースです。

(元向 古田寿昭さん)



編集後記

新年度が始まり、新しいことに
チャレンジしたり環境が変わつ
たりする時期です。日々の生活に
疲れを感じたら、ゆっくり入浴、
十分な睡眠、散歩をするなどリ
ラックス効果を取り入れ心すこ
やかに過ごしていきたいもので
す。今年度もコロナ対応をふま
え、いろんな行事ができることを
願っております。